※令和４年度以降入学生用

学校番号	３０１３

令和５年度　国語科

教科	国語	科目	言語文化	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	「新編　言語文化」　（大修館書店）						
副教材等	「改訂版　漢字検定７～２級対応　書きたくなるアシスト常用漢字」　（数研出版）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

国語は、ことばを学ぶ教科。それは、食事で譬えれば主食のパンやご飯にあたるものです。勉強に限らず、仕事、遊び、公私を問わず、すべての営みにはことばが欠かせません。それだけではなく、例えば物事を観察し、分析し、思考し、複数の視点を切り替える力を持っていれば、どんなことでも楽しみ、面白がることができますが、これらの力には全てことばが関わるのです。

ことばをひとつずつ学ぶのは地道な作業ですが、それを積み重ねた先には、想像もつかなかった味わいが待っています。一緒にがんばりましょう。学習方法は授業で伝達します。

２　学習の到達目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語を正しく理解し、正しく伝わるように表現する資質・能力を次のとおり育成することをめざします。

（１）社会生活に必要な国語の知識や技能を身につけるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。

（２）論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすことができるようにする。

（３）言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・正確な字形のひらがな、カタカナ、漢字を書くことができるか。 ・二字熟語や四字熟語を正しく読み、適切に書くことができるか。 ・日本の伝統的な語彙や表現、習慣やしきたりについて、最低限の知識を備えているか。	・二字熟語や四字熟語、ことわざや慣用句を、文章の中で適切に使うことができるか。 ・5000 字以内の短い文章について、内容を理解しつつ流暢に音読することができるか。 ・古文や漢文を読み、言わんとしていることを把握できるか。	・授業に出席し、自分の席に着き、必要なものを準備し、覚醒して授業を受けているか。 ・ノートや提出物を指示通りに完成させ、提出しているか。 ・予告した小テストに対し、自分で工夫して準備しているか。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
一学期中間	ことばの豊かさを知る ［教材］ 「言葉の森を育てよう」	a:正しい字形で文字を書けるか b[読む]:語意の差を意識して読めるか c:自ら語彙を増やそうとしているか	小テスト	定期考査	ノート
	詩の世界にふれる ［教材］ 「詩歌の調べ」	a:種々の詩の決まりを理解しているか b[書く]:詩について意見が述べられるか c:自ら詩を探すことができているか	定期考査	感想文	調べ学習プリント
一学期期末	古文にふれる ［教材］ 「いろは歌」「古文冒頭選」	a:古文の基本事項を理解しているか b[読む]:古文を理解して読んでいるか c:有名な古文を暗唱しているか	定期考査	定期考査	暗唱テスト
	古文の世界にふれる ［教材］ 『枕草子』	a:平安時代や古文に関する基本事項を理解しているか b[読む]:古文を理解して読んでいるか c:内容を踏まえて意見が言えるか	定期考査	定期考査	感想文
二学期中間	現代小説を読む ［教材］ 「一瞬の風になれ」「鏡」	a:表現技法を理解しているか b[書く]:感想を丁寧に書けるか c:感想を適切に共有できるか	定期考査	感想文	グループワーク
二学期期末	漢文の世界にふれる ［教材］ 「訓読の決まり」「格言」 「蛇足」「論語」	a:古代中国や漢文に関する基本事項を理解しているか b[読む]:漢文を理解して読んでいるか c:内容を踏まえて意見が言えるか	定期考査	定期考査	グループワーク
三学期	純文学にふれる ［教材］ 「羅生門」	a:基本的な文学史を理解しているか b[書く]:主題を踏まえて感想が書けるか c:流暢に朗読する練習をしているか	定期考査	感想文	朗読発表

※表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準[ｂ]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　(　　)時間

・書くこと　…　(　１０　)時間

・読むこと　…　(　６０　)時間